

第15回 助成活動団体成果報告会 報告書 & 助成制度のご案内

開催日時：令和6年11月22日（金） 午後1時30分～4時

開催場所：足立区勤労福祉会館 第1ホール

千住いえまち P.6



特定非営利活動法人メタノイア P.9



あなたの
まちづくり
を
応援します！



第15回 助成活動団体成果報告会報告書

令和6年11月22日（金）、「第15回公益信託あだちまちづくりリトラスト助成活動団体成果報告会」を開催しました。
今回は、令和2年度及び5年度にまちづくり活動を行った10団体のうち、8団体が参加しての実施となりました。

目次

【発表団体】

No.1	第6回足立区ギャラクシティ音楽コンクール開催 特定非営利活動法人あだち音楽文化の会	3
No.2	第6回第九を歌おう! inあだち 特定非営利活動法人ムジカ・フレスカ	4
No.3	竹ノ塚駅東口将来像の調査・研究 竹の塚まちづくり協議会	5
No.4	古くて新しい千住宿のまちなみをつくる 地口あんどんプロジェクト 千住いえまち	6
No.5	不登校の子どもの居場所づくりと食事提供事業と高齢者支援 第七地区子どもの居場所づくり実行委員会	7
No.6	はなはた文教マルシェ はなはた文教マルシェ実行委員会	8
No.7	あだちこどもの日本語教室 特定非営利活動法人メタノイア	9
No.8	地域の歴史文化を伝える取り組みに関する活動 路地裏アートプロジェクトin西新井大師	10

【書面での報告団体】

No.9	シティコンポストプロジェクト あだちコンポスト委員会	11
No.10	デザインえほん ～わたしの『ステキまち』をデザインしよう～ 塚本 祐士	12

【街並み空間・自主管理歩道コース】

No.11	自主管理歩道・広場の改修工事 イニシア千住曙町管理組合法人	13
No.12	「お化け煙突モニュメント」の改修工事 学校法人帝京科学大学	14
No.13	自主管理歩道・広場の改修工事 ライオンズオーチャードガーデン管理組合	15

助成活動団体一覧	16
公益信託あだちまちづくりリトラスト 助成制度のご案内	17



▲まちづくりリトラスト運営委員会でのプレゼンテーションの様子

開会挨拶

吉満 運営委員

本日は、第15回助成活動団体成果報告会ということで1年に一度、皆さまがどんな活動をされてきたのかということのお話をうかがう機会となっております。報告会には、大きく二つの目的がございます。ひとつは、助成を認可した事業が、実際にどのような形でまちに貢献したのかということのご報告を受けるということ、そして同時にそれを審議

させていただいた私たちにとっても正しい判断ができたのかということ、私たち自身も吟味チェックするポイントとして考えております。そのような意味では、お互いにとって気持ちのよい時間になればと思っておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

No.1 特定非営利活動法人あだち音楽文化の会

第6回足立区ギャラクシティ音楽コンクール開催

～クラシック音楽を通じた、新たなあだちの魅力の創造に関する活動～



身近な活動コース

申請額・助成額

300,000円

助成金の主な使いみち

「足立区ギャラクシティ音楽コンクール」の運営体制・設備強化充実のために活用



▲発表当日の田中さん

活動の目的

あだち音楽文化の会は、任意団体として足立区全域を対象として音楽文化の普及に関する活動を推進してきました。活動を行うなかで平成30年には、足立区でクラシック音楽コンクールを開催。令和4度からは足立区長の認可を受け「足立区ギャラクシティ音楽コンクール」としてその規模を拡大し、足立区の音楽文化普及発展に向け活動を続けています。

活動内容

令和5年度は、第6回足立区ギャラクシティ音楽コンクールとそれに関連したイベントを実施。音楽や文化に関連する地域の指導者の方へコンクールの活動趣旨を案内し参加を呼びかけました。結果、令和5年7月22日～令和6年1月21日にかけて第6回足立区ギャラクシティ音楽コンクール、予選・本選・入賞者披露演奏会を開催し延べ500名以上の方にご参加いただきました。

活動の成果

足立区ギャラクシティ音楽コンクール入賞者披露演奏会には272名の方にご参加いただきました。コンクール開催によりクラシック音楽を嗜む人たちが技術を披露する場を提供することができたと同時に、地域の人々が音楽文化に親しむ機会も増えました。「クラシック音楽のまちのあだち」を目指すことで、まちづくりに貢献できたと感じています。

次回活動に向けて

令和6年度は、音楽や文化に関連する地域の指導者の方へコンクールの活動趣旨を案内し参加を呼びかけ、第7回足立区ギャラクシティ音楽コンクールとそれに関連したイベントを実施する予定です。令和6年7月20日～令和7年1月19日にかけて第7回足立区ギャラクシティ音楽コンクール、予選・本選・入賞者披露演奏会を開催し参加人数は、300名を予定しています。
(※第7回は令和7年1月19日実施、参加人数180名)

▲第6回コンクール
ピアノ演奏中の真剣な眼差し▲第6回コンクール
ピアノ演奏中にオーケストラと調和している▲第6回コンクール
ピアノ演奏に集中している姿▲第6回コンクール表彰式写真
ピアノ演奏者たちの集合写真

運営委員会からコメント 音楽文化創造事業の秘める可能性の発信を

音楽の好きな私としては、本物のクラシックに触れるこの試みを、ぜひ助成終了後も継続することを念頭に活動いただけたらと思います。あだち音楽文化の会に限らずですが、どの団体も課題として共通しているのは、事業運営にのみ集中しすぎて、集客やイベント後にどんな変化があったのかというリサーチを、事業の中に組み込んでいない団体が多いようです。そうしたスケール感や視野の広さ、その事業が秘める大きな可能性に自信や信念を持ていただくと、その思いが伝わり、さらに多くの人や企業を巻き込んでいけるとと思います。皆さんのできるところで、今後は、予算や時間、集客やリサーチを併せ持ったスケール感で考えていただくと、よりよい活動になるかなと思いました。今後も楽しみにしています。

第6回第九を歌おう! in あだち



はばたき支援コース

申請額・助成額

1,360,000円

助成金の主な使いみち

13回のレッスン経費（講師・ピアニスト・エキストラ・指揮者・オーケストラ・ソリスト）、レッスン会場費、発表会会場費



▲発表当日の高橋さんと山崎さん

活動の目的

足立区在住・在勤・在学の方々の参加のもと、4ヶ月（13回のレッスン）の成果を合唱参加者が心をひとつにして披露します。明るくさわやかに混声四部合唱で歌う足立区歌「わがまち足立」。次に年末の風物詩であるヴェートーヴェン作曲、交響曲第九番より第四楽章「歓喜の歌」を小・中・高・大の学生と高齢者で高らかに歌い、音楽を通じて足立区の音楽文化の向上と平和な地域社会の創造を目指します。

活動内容

12月5日の発表会に向けて、7月21日より参加者募集リーフレットを配布。8月31日に締切り、参加者は75名となりました。9月14日よりレッスン開始。パート決め、ウォーミングアップ、呼吸法、発声合唱レッスン（13回）を実施。発表会当日は実行委員（22名）による舞台と壇上作り、各控室の準備、受付の設置などを行い、発声練習後リハーサルに入り、発表会本番を迎えました。

活動の成果

足立区在住の方でもあまり歌ったことのない足立区歌（團伊玖磨作曲）は、明るくさわやかな歌で非常に興味をもって歌っていただけました。また、第九「歓喜の歌」も楽しく歌っていただくことができ、参加者全員で喜びを共有することができました。足立区の平和で明るい社会作りと音楽文化の向上に協力することができたと実感しています。

次回活動に向けて

次回開催を要望する声を区民の方々からたくさんいただきました。第7回の第九を歌おう! in あだちの公演に向け、また区民の皆さまの参加しやすい環境を作るためには、支援団体が必要だと感じています。現在、支援していただける法人様を模索中であり、活動を継続していきます。次回の参加者は80名～100名を予定しています。



▲レッスン風景

▲第6回第九を歌おう! in あだち
合唱する参加者▲第6回第九を歌おう! in あだち
合唱する参加者▲第6回第九を歌おう! in あだち
全体写真

運営委員会からコメント 事業継続に向けた、さらなる工夫と努力を期待

コロナ禍で4年間の中断があった中での第6回公演の開催にあたり、さまざまな工夫をし、ご尽力されたことと思いますが、そのことにまず敬意を表します。事業の継続に関しては、助成終了後の自立も検討されているようですが、委員からの質問にありましたチケット収入の件なども検討していただければと思います。報告書には、法人様からの支援も検討されているようですが、まだそのレベルには至っていないのかなとも感じています。引き続き活動を継続するための工夫を研究していただきたいと思います。音楽を通じて文化を広め、地域の人の心を豊かにしていく活動は、重要ですので、今後も頑張ってくださいと思います。

竹ノ塚駅東口将来像の調査・研究

発表者
古庄 定夫さん

はばたき支援コース

申請額

720,000円

助成額

252,648円

助成金の主な使いみち

印刷費（広報紙、アンケート用紙、送付・回答用封筒）、
交通費（視察バス借り上げ費用）

活動の目的

竹ノ塚駅付近鉄道高架化を機に周辺まちづくりの機運と期待が高まっています。竹の塚まちづくり協議会では、この機を逃さず、竹ノ塚駅周辺、特に駅東口の将来像を調査・研究し、高架化後のあるべき姿を描き、再開発事業を通じて安全・安心、ノーマライゼーションを考慮した住みやすいまちの実現への寄与を目的として活動しています。

活動内容

協議会は、毎月1回開催（8月は休会）。出席委員全員が、まちづくりに関する情報、課題、提案を行います。専門員は、これらの情報と課題、提案を整理し報告。専門的知見を加味した報告内容は、方向性が示され、委員の質疑を経て具体化が決定されます。課題発見と解決例を実感するため、先行地域の視察を実施しています。



▲発表当日の古庄さん

活動の成果

協議会を11回開催し、延べ195人が参加しました。広報紙「みんなのまち竹の塚かわらばん」を1回、「広報 竹の塚まちづくり協議会」を2回発行。まちづくりに関するアンケートを1回実施しました。

視察には区職員が同行。図書館、産業関係貸しスペース、緑の自由回廊など、先進地区施設を体感し再開発構想企画図作成に向けたイメージ形成が進みました。

次回活動に向けて

次年度は、協議会11回、勉強会2回、広報紙6回発行を予定。延べ200人の参加を見込んでいます。専門家を交えた学習会と参考図書の整備、アンケートは2回を計画。視察は3回実施、再開発構想企画図作成委託を予定。ホームページも開設します。また、区内の大学との協働可能性を探索。最終的には、計画への合意形成を進め再開発準備組合結成を目指します。



▲竹の塚まちづくり協議会定例会議風景



▲立石地区再開発の視察



▲曳舟地区再開発の視察 成人入口と子どものスペースを分離した公立図書館



▲UR住宅棟を囲む自由通路

運営委員会からコメント

周辺地域に住む方たちの意見を集約尊重し、よりよいまちへ

再開発事業も含め公共公益性が重要とお話がありましたが、やはり公共公益性を獲得するためには、地域の方の意見、権利者の方は当然ですが、周辺地域にお住まいの方たちの意見が非常に重要だと思います。先ほど視察した図書館のお話がありましたが、そのような意見も、おそらく地域の方からの意見ですと、足立区は動かざるを得ないという側面もありますので、そのような意見を集約尊重して、周辺の方を巻き込みながら、よりよいものにしていただければと思います。例えば、周辺に住む学生さんが立ち寄れる『アフタースクールのまち竹の塚』というような仕組みを期待していますので、どうぞよろしくお願いいたします。

古くて新しい千住宿のまちなみをつくる 地口あんどんプロジェクト



発表者
鶴巻 俊治さん

はばたき支援コース

申請額

920,000円

助成額

896,423円

助成金の主な使いみち

地口あんどん制作費、イベント開催に伴う物品購入費、広報物作成費、技術指導委託料



▲発表当日の鶴巻さん

活動の成果

旧日光街道沿いに地口あんどんのある景観をつくり出したことは、住民の方や観光客の目を引き、まちの活性化に寄与しました。謎解きラリー（約100人参加）、地口あんどんワークショップ（20組参加）では、地域の方や子どもたちに地元の歴史と文化を伝えることができ、商店街と連携しての展開はコミュニティの結束を強め、地域への誇りと愛着を高めました。

活動の目的

1. 歴史も新しいものもある、千住らしい景観をつくり伝えます。
2. 千住ならではの生業・文化を後世につないでいきます。
3. 子どもたちに千住らしい文化を伝え、まちへの誇りと愛着を育んでいきます。

地口あんどんプロジェクトは、以上のことを目的に活動しています。

活動内容

千住に江戸時代から継承されてきた地口あんどんを旧日光街道沿いに設置し、古くて新しい千住の景観をつくり出しました。また、「謎解きラリー」「ミニチュア地口あんどんワークショップ」を開催し、子どもから大人まで、千住文化への理解を促し、まちへの愛着を育成。同時に江戸時代から続く絵馬屋の仕事を学び、体験する機会を提供しました。

次回活動に向けて

令和6年度は、旧日光街道沿いのほか北千住駅西口のときわ通り、ミリオン通りにも地口あんどんを設置し、千住らしい景観を拡大します。また、イベントを継続して行うことで、千住の文化を伝承しまちへの誇りと愛着を育みます。さらに、地口あんどんを使用したダイナミックな空間展示を実施することで関心を高め、千住宿開宿400年へと繋げていきます。



▲お店ごとに工夫して展示して下さった



▲謎解きラリーにはたくさんの親子が参加



▲ミニチュア地口あんどんワークショップ

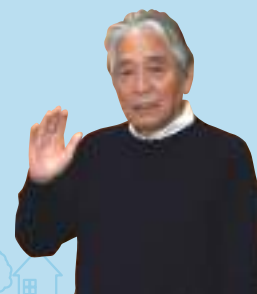


▲ワークショップでは20組の親子などが真剣に取り組んだ

運営委員会からコメント 今あるものをどう残し、どう伝えていくのか

千住いえまちの活動は、今ある文化をどう残していくのかというものだと思います。まず、地口あんどん文化の継承ですが、今後、千住といえば「地口あんどん」というようなイメージが根付いていくとよいと思います。また、ワークショップなどを開催し子どもたちに地域の文化に触れる機会を提供されていることは非常に重要です。そこで提案ですが、このイベントを小・中学校などと連携して開催していただくと、まさに文化の継承といったものに繋がっていくのかなと思います。小・中学生にどう伝えていくかということは、今後の文化継承の大きなポイントですので、その点を工夫して活動を継続していただければと思います。

不登校の子どもの居場所づくりと 食事提供事業と高齢者支援



発表者
藤沼 壮次さん

はばたき支援コース

申請額

1,090,000円

助成額

491,310円

助成金の主な使いみち

食材費、保険料、水道光熱費

活動の目的

不登校の子どもや、なんらかの支援を必要とする子どもへの支援、
加えて高齢者等社会的弱者への支援を目的として活動しています。



▲発表当日の藤沼さん

活動内容

- ①不登校の子どもへの居場所と食事の提供
 - ②学校の長期休暇時の昼食提供
 - ③高齢者交流拠点の提供
 - ④その他なんらかの支援を必要とする人たちへの支援の実施
- 以上のような活動を行っています。

活動の成果

不登校生徒への居場所と昼食提供事業は毎週火・木・金で行い、参加人数が延べ136人となりました。次に長期休暇中の昼食提供事業では、33日間実施し、参加人数は延べ311名でした。

次回活動に向けて

今後の活動についても、不登校の子どものための支援と学校の長期休暇時の昼食提供の継続、高齢者等の支援を必要とする人たちへの援助の継続を考えています。今後は学校や行政とより緊密に連携し、一人でも多くの子どもたちに居場所を提供できるよう活動していきます。



▲昼食提供準備の様子



▲長期休暇中の食事メニュー
「ミックスフライ定食」



▲食後のゲーム風景



▲長机で食事の様子

運営委員会からコメント 地域の絆が希薄な時代の新たな絆づくり

不登校のお子さんたちに行く場所があるということは、とても幸せなことだと思います。足立区には、長期休暇中の食事に苦労されている子どもがたくさんいますが、そこで食事の提供もされ、本当に素晴らしい事業をなさっていると思います。また、高齢者の方が生きがいを持って活動していて、地域の方がいきいきしていると報告にありましたが、このようなことが社会貢献につながっていくのだなと実感しました。地域の絆が希薄なご時世ですが、このような活動を通して地域の人たちが団結していくことは、とても素晴らしい成果だと思います。今後もこの事業を継続していただければと思います。

はなはた文教マルシェ

発表者
文教大学
西澤 秀行さん

足立成和信用金庫
坂巻 涼太さん



はばたき支援コース

申請額・助成額

1,800,000円

助成金の主な使いみち

イベント業者への会場設営費、イベント周知に係るチラシ・ポスター制作費等



▲発表当日の西澤さん

活動の成果

2度目の開催となる「はなはた文教マルシェ」は、前年と同様約3,000人もの来場者にお越しいただき、大学と地域住民を繋ぐイベントとして浸透してきていると感じています。区内出店事業者の売上合計についても約1,900千円（昨年比114%）となり、事業支援の一環としても機能しています。また、ゼミ・サークルの積極的な参加により、地域住民と学生の交流も図ることもできました。

活動の目的

当マルシェを地域連携や“つながりの場（プラットフォーム）”として継続実施していくことで地域の活性化、コミュニティ形成の促進、地域住民のシビックプライドの醸成を図るとともに、学生の地域への関心や愛着を高めることで賑わいのあるまちづくりを目指しています。また、大学と地域住民との関係強化に繋げることで、SDGsの普及・啓発活動についても実施していきます。

活動内容

大学と地域の関係性をより一層深めるため、今年度も地域企業によるワークショップ、飲食販売、大学と地域住民による各種パフォーマンス等を実施しました。さらなる盛り上げのためにキッチンカーを増設、大学の協力によりゼミ・サークルの出展も増やすことができました。また、カーボンオフセットクレジットの取組により、SDGsの普及・啓発活動も行うことができました。

次回活動に向けて

3度目となる来年度は、トラスト助成の最終年度であり、自立運営に向けた取り組みを進めていきます。具体的には、出店事業者からの出店料徴収や、大学内の施設・備品を利用して設営費用を抑えていくことで自立運営に向けた体制を整えていく予定です。来場者についても今年度と同様、3,000人程度を見込み、新たに地域高校の参加も検討しています。



▲富国生命によるモルック体験



▲ハーブ演奏の様子



▲花畑女性連合会による流し踊りの様子



▲「あだち夢のお菓子コンテスト」で受賞したポテトチップを販売する様子

運営委員会からコメント 地域の人たちを主体に、事業の自立と継続を

文教大学は、地域との連携を非常に重視されていて、積極的にこのようなイベントを主催されていることに対して敬意を表します。ご報告にもありましたが、助成後、事業の自立を目指していくとのことですが、今後は会場設営費をどう捻出するのかの工夫、学生のさらなる参加に加え、町会の方にも積極的にご参加願えばいいなと思っています。また、地域との交流に関しては、例えば区や足立成和信用金庫の紹介による企業の出店ではなく、やはり地域の人たちが主体となり出店をするということが増えてくるとよいのかなと思います。今後も自立に向けて、さまざまな工夫が必要かと思いますが、ぜひとも頑張ってください。

あだちこどもの日本語教室

発表者
山田 拓路さん

はばたき支援コース

申請額・助成額

1,580,000円

助成金の主な使いみち

子ども用日本語教材、日本語教室会場費、日本語教師有資格者に対する謝礼・交通費、ボランティアの方の交通費、保険料等



▲発表当日の山田さん

活動の成果

2教室合計で82回（1回2時間）開催し、全72人、延べ998人の参加がありました。また、外国にルーツを持ち日本で暮らしてきた若者たちがボランティア講師として、支える側となるケースも複数ありました。単なる語学教室に留まらず、外国ルーツの子どもたちが自信を持ち、生きていくための礎となるコミュニティを築くことができたと考えています。

活動の目的

「外国人も日本人も共に地域社会を支える主体（足立区多文化共生推進計画2019年）」との認識に立ち、外国籍児童が特に多い竹の塚、新田周辺における日本語教室の開催を通じて、外国ルーツの児童を含むすべての子どもが、持って生まれた力を活かすことができる多文化共生社会の協創に寄与し、「誰ひとり取り残されない社会（国連SDGs）」の実現に資することを目的としています。

活動内容

竹の塚および新田の2地域において、外国ルーツの子どもたちが日本語等を学べる場を拡充する事業です。日本語指導が必要な学齢期の児童生徒に対し、日本語教師有資格者による日本語教育を実施。また、外国ルーツの幼児も受け入れ、工作や歌、読み聞かせなどを行い、日本語に楽しみながら親しむ機会を提供しています。

次回活動に向けて

2教室で、毎週土曜日、各20～25人程度ずつを継続して受け入れていく計画に加え、竹ノ塚駅前になたな常設型日本語教室を開設し、さらに多くの子どもたちの受け入れを行う予定です。足立区内の外国籍人口の急増によりニーズが高まる中、区役所の多文化共生担当や教育委員会、区内NPOと連携し、より良い支援体制を構築できるよう尽力していきます。



▲食べ物の絵カードでカルタ遊びをして楽しく語彙を習得します



▲日本語でお買い物ごっこを楽しみながら自然なやりとりを学んでいます



▲中高生年代のクラスで交流のためにカードゲームをしています



▲中高生クラスに寄り添うボランティアさんの中には自身も外国にルーツを持ちながら地域で育ってきたという若者たちもいます

運営委員会からコメント 多様性を楽しめる、そんな足立区へ向けて

この事業を通じて様々なルーツを持つお子さんたちが、笑顔で集まれる居場所が作られているのだと実感しました。この新しい空間を作り出すことに貢献した事業には、今後もこの足立の中で、ずっと残り続けていただきたいと思います。クラウドファンディングの取り組みも報告にはありましたが、事業を継続していくには、お金と同様に人も大事になってくると思います。地域とのつながりを考え、多様性が生むメリットを実感してもらえるような地域社会を作りあげていくため、様々なところに働きかけていただいて、多様性を楽しめるような、そんな足立区を作っていただければと思いますので、どうぞよろしくお願いいたします。

地域の歴史文化を伝える取り組みに関する活動

発表者
高橋 純子さん

活動の目的

アート活動やダンス文化で多世代をつなげ、地域の活性化とコミュニティ形成に貢献することを目指しています。

活動内容

アートで盛り上げる西新井大師北参道・写真を撮りたくなるシャッターアート、アートとしてのダンス、クラフト作家さんのいる町でのクラフトづくり、学生によるバンドライブ、高齢者と一緒に活動するふれあいサロンなど、西新井大師裏に地域の文化を創造。このまちに住んで良かったと思えるつながりづくりをしています。

はばたき支援コース

申請額

1,270,000円

助成額

870,202円

助成金の主な使いみち

イベントでの舞台設営工事費、
チラシ作成・印刷費、イベント
企画運営委託料



▲発表当日の高橋さん

活動の成果

令和5年11月4日「第一回西新井多世代交流まつり」を開催し300名の参加がありました。令和5年11月23日「皿沼まちおこし」を開催、参加者500名でした。令和6年3月23日・24日「西新井大師北参道シャッターアート」を実施。令和6年8月11日「ムラサキ・ダンスフェス」を開催し300名の参加がありました。

次回活動に向けて

地域包括支援センター西新井や近隣企業（大内病院・水野病院・サンドラッグ等）と協力し、令和6年11月2日「第二回西新井多世代交流まつり」を新西新井公園にて開催。前年の第一回よりも参加団体が増えました。今後、毎年11月に開催予定。令和7年3月に都市農業公園を会場としたダンス・バンド・ものづくりのイベント開催を予定しています。



▲皿沼まちおこし



▲西新井大師北参道シャッターアート



▲西新井大師北参道シャッターアート



▲ムラサキ・ダンスフェス

運営委員会からコメント

企業、地域住民、町会自治会と連携し事業の拡大継続を

足立区というと区内外問わずマイナスなイメージがあり、区特有のボトルネック的な課題もあります。そういった課題に直面している状況の中で、このような文化芸術で足立区や地元の西新井地域周辺を盛り上げ元気にし、活気づけていく活動は大変重要なものだと思います。このような活動が、足立区のイメージアップにもつながると思っていますので、これからも企業、地域の皆さん、町会・自治会といった関係機関と連携し、このようなイベントをぜひ継続して実施していただきたいと思います。ありがとうございました。

シティコンポストプロジェクト

はばたき支援コース

申請額

1,080,000円

助成額

321,254円

助成金の主な使いみち

活動の持続化に向けた販売用パッケージ製作費、ウェブサイトの更新・維持費、コンポスト開発費

活動の目的

足立区内で生ごみを収集・資源利用して堆肥を作り、有機野菜を栽培するプロジェクト。地域内のつながりの活性化と食を通じたコミュニティ形成を目的としており、生ごみを管理する1次処理、収集して完熟堆肥とする2次処理、そして堆肥を畑に施用して収穫することで完結します。2021年に活動を開始し現在は、持続的に活動できるよう努めています。

活動内容

本事業は、2カ月間生ごみを各家庭や飲食店で管理するための1次処理、その1次処理した生ごみを取集し完熟堆肥とする2次処理、最後にできあがった堆肥を畑に施用し収穫することで完結します。生ごみという本来循環可能な資源を活用した地域内のつながりの活性化と、食を通じたにぎわいのあるコミュニティの形成を目指して活動しています。

活動の成果

10世帯の生ごみを継続的に堆肥化。毎週切り返し作業を実施し、完成した堆肥を袋詰めします。竹の塚「ミントポ」、足立区小台「BRÜCKE coffee」、北千住「千とかZINEとか」等での販売、綾瀬「あやセンターぐるぐる」でのトークイベントなどの活動を展開。参加者からは生ごみ削減効果を実感する声が多く、環境意識の向上につながっています。

次回活動に向けて

参加者も徐々に増えてきましたが、私たちのコンポスト事業は都市で継続して行う事が難しいことがわかり、課題もみえてきました。これまでSNSやイベント参加により活動紹介をしてきましたが、他の方法での周知を検討し、堆肥を継続して使っていただける方、あるいは広い場所を提供いただける方などの協働者を探していく必要があると感じています。



▲二次処理



▲切り返し



▲袋詰め



▲竹の塚「ミントポ」にて商品を陳列



No.10 塚本 祐士

デザインえほん

～わたしの『ステキまち』をデザインしよう～

はばたき支援コース 申請額・助成額 **2,000,000円**

助成金の主な使いみち

次世代の声を非言語コンテンツで集計し、まちづくりに反映する仕組みづくりに活用

活動の目的

子どもたちを取り巻くコミュニティに対して、一人ひとりが考え感じる機会をつくります。そこでアウトプットした考えや想いを集め将来のまちづくりにフィードバックすることで、次世代のニーズにかなう魅力的なまちづくりを促進することを目的としています。

活動内容

自分の住むまち、そこに住む家族、友人、先生、地域の人など、人と人の関係性（自分を取り巻くコミュニティのソフト面）をテーマにした物語映像コンテンツを上演し、五感を通して、子どもたち一人ひとりの心にアプローチ。見えない声を言語化するワークショップ（表現活動・アンケート含）を実施し、その声を集計・分析してまちづくりにフィードバックしていきます。

活動の成果

区内小学校と子ども施設でデザイン絵本事業を2回開催（891名参加）。良質なコミュニティ構築で鍵となるお互いを思いやる気持ちをテーマとしたコンテンツを、音楽と朗読、ワークショップなど複合的なアプローチで発信。子どもたちに自分を取り巻く環境について感じてもらう機会を提供し、「思いやり」について考えてもらうことができました。

次回活動に向けて

さらに多くの子どもたちに向けて、自分のまち（コミュニティ）について、考え感じる機会と体験を提供していくことで、まちづくりに活かせる、次世代の見えない声を集めていきたいと考えています。



▲「思いやり」をテーマにしたコンテンツ上演



▲ピアノ、弦の生演奏で子どもたちの心を物語の中へ誘導。



▲最後に子どもたち一人ひとりの意見をアンケートで聞き取る



▲たくさんの人のコミュニティや思いやりに関する意見を聴くことができた



No.11 イニシア千住曙町管理組合法人

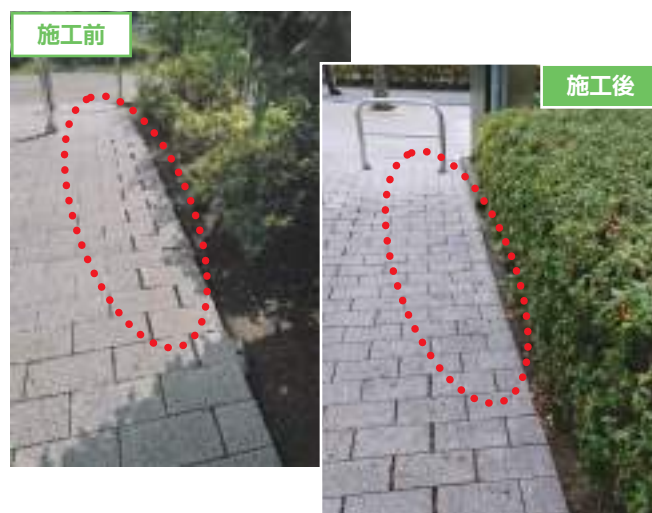
自主管理歩道・広場の改修工事

申請額・助成額 **2,940,000円**

修繕 1

施工時からマンションの中庭をインターロッキング化し、公開空地としているが、植栽のせり上がりにより、多数箇所に段差を生じた。

公開空地利用者の転倒防止の観点から、不具合部分のインターロッキングを修繕した。



修繕 2

公開地にある木製ベンチが経年劣化により、ささくれだっている箇所があるため安全性と耐久性を考慮したベンチに交換し、街並み空間の景観の向上とつどいの広場を作った。



No.12 学校法人帝京科学大学

「お化け煙突モニュメント」の改修工事

申請額・助成額 3,000,000円

大学敷地内にあるお化け煙突モニュメントが、東日本大震災の影響を受け若干傾きが生じた。年々僅かながら傾きが進んでいることから、安全確保のためモニュメントの転倒防止工事を行った。



工事状況

〔工事内容〕基礎下の全ての鋼管抗頭部（32本）に複動型油圧ジャッキを設置、各ジャッキ等で修正値を測定後、油圧ポンプユニットにより、修正値まで繰り返しジャッキアップした。

〔沈下是正工事〕



〔埋め戻しと植栽復旧〕



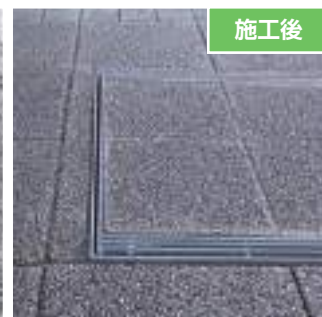
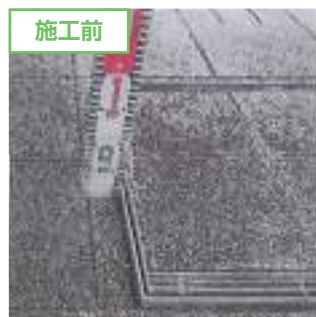
No.13 ライオンズオーチャードガーデン管理組合

自主管理歩道・広場の改修工事

申請額・助成額 **2,190,000円**

修繕 1

自主管理歩道の舗装の沈下等により段差や不陸（水平ではなく凹凸がある状態や、曲がっている状態）が生じ、通行者のつまずきによる転倒が懸念され、安全確保のため不具合部分を補修工事した。



修繕 2

公開空地にある植栽が枯死や根がむき出し状態になっていることから、補植と根本保護等を行い、災害時の避難路確保と景観の向上を図った。



助成活動団体一覧

●身近な活動コース（助成限度額30万円以内）

No.	助成回	団体または個人名	事業内容	助成金額
1	R5②	特定非営利活動法人 あだち音楽文化の会	ギャラクシティ音楽コンクールを開催し、足立区全域に対して音楽文化を普及する活動を通し、地域の活性化とあだちの新たな魅力の創造に寄与する。	300,000

●はばたき支援コース（助成限度額 総額500万円以内（5回まで／各回200万円以内））

No.	助成回	団体または個人名	事業内容	助成金額
2	R2①	特定非営利活動法人 ムジカ・フレスカ	足立区歌「わがまち足立」と第九の第4楽章「歓喜の歌」による足立区民の音楽文化の向上と活力あふれる地域社会作りを目指す。平成27年より足立区に在住・在勤・在学の方々の参加のもと、今年で第6回目となる。	1,360,000
3	R5①	竹の塚まちづくり協議会	竹ノ塚駅周辺の高架化を契機とし、駅周辺、特に駅東口の将来像を調査・研究し、高架化後のあるべき姿を描き、賑わいのある住みやすい街の実現を図る。	252,648
4	R5①	千住いえまち	千住に江戸時代から継承されてきた地口あんどんを旧日光街道沿いに設置し、子どもたちを中心にまち巡りを促す。同時に、絵馬屋の仕事をくりながら技術の承継にチャレンジする。	896,423
5	R5②	第七地区子どもの居場所づくり 実行委員会	不登校の子どもや何らかの理由で困っている子どもへ居場所と食事を提供し、健全な体と心を育てる。また、高齢者の交流の場を提供し、地域の連帯感を築き、心豊かなまちづくりに貢献する。	491,310
6	R5②	はなはた文教マルシェ実行委員会	大学と周辺地域とのより良い関係を構築するために、キャンパスを開放し、地域企業によるワークショップや飲食提供、大学生・地域住民による各種パフォーマンス等を実施する。	1,800,000
7	R5②	特定非営利活動法人メタノイア	足立区内の複数地域で、外国ルーツの子どもの学びの場を作る。外国籍児童が多い「竹の塚」「新田」での日本語教室を通じて、外国ルーツの児童を含むすべての子どもが持って生まれた力を発揮できる多文化共生社会の協創に寄与する。	1,580,000
8	R5②	路地裏アートプロジェクト in 西新井大師	多世代交流の場を年2回設け、お年寄りが孤立しない地域作りや子どもたちがアートに興味を持つ機会作りを行い、アートとダンス文化を根付かせて西新井大師裏に地域文化を広げる。	870,202
⑨	R5②	あだちコンポスト委員会	足立区内で生ごみを収集・資源利用し堆肥を作り、有機野菜を栽培することで、地域内のつながりの活性化と、食を通じコミュニティの形成、環境に関する知識を育む。	321,254
⑩	R5②	塚本 祐士	自分の住むまち、そこに住む家族、友人、先生、地域の人などとの関係をテーマとした絵本コンテンツを介して、子どもたち一人ひとりの心にアプローチし、見えない声を言語化するワークショップを行う。	2,000,000

●街並み空間・自主管理歩道コース（発表なし）（助成限度額300万円以内）

No.	助成回	団体または個人名	事業内容	助成金額
11	R5①	イニシア千住曙町管理組合法人	施工時からマンションの中庭をインターロッキング化し、公開空地としているが、植栽の根のせり上がりにより多数箇所段差を生じた。公開空地利用者の転倒防止の観点から、不具合部分のインターロッキングを修繕する。また、公開空地にある木製ベンチが経年劣化により、ささくれだっている箇所があるため安全性と耐久性を考慮したベンチに交換し、街並み空間の景観の向上とつどいの広場をつくる。	2,940,000
12	R5②	学校法人帝京科学大学	大学敷地内にあるお化け煙突モニュメントが、東日本大震災の影響を受け若干傾きを生じた。年々僅かながら傾きが見られることから、安全確保のためモニュメントの転倒防止工事を行なった。	3,000,000
13	R5②	ライオンズオーチャードガーデン 管理組合	自主管理歩道の舗装に沈下等による段差や不陸（※）が生じ、通行者の躓きによる転倒が懸念されるため、安全確保のため不具合部分を補修する。また、公開空地にある植栽が枯死や根がむき出し状態になっていることから、補植と根本保護等を行い、災害時の避難路確保と景観の向上を図る。 ※「不陸」とは、水平ではなく凹凸がある状態や、曲がっている状態を指す。	2,190,000

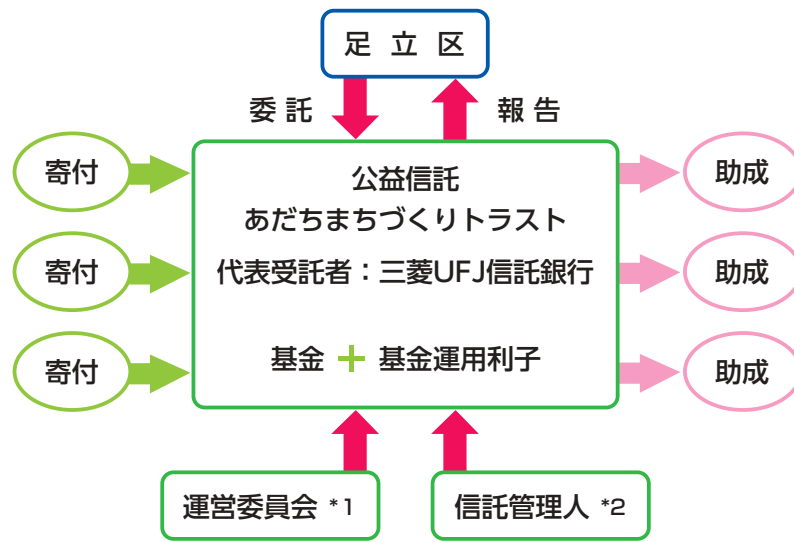
※No.に○がついている団体は成果報告会欠席者。

公益信託あだちまちづくりトラスト 助成制度のご案内

区民のみなさまの創意工夫あふれる自主的なまちづくり活動を応援します。

■まちづくりトラストのしくみ

当基金は、助成事業を通じて快適で文化的なふれあいのあるまちの創造に寄与することを目的としています。この趣旨にご賛同くださる方からの寄付金を、公益信託法に基づき足立区が信託銀行に委託し、運用益等でまちづくり活動を行う個人又は団体に助成しています。



*1 運営委員会…助成先の選考にかかる諮問機関

*2 信託管理人…受託銀行の職務執行を監督

■助成コース

助成コース名	助成対象者	助成限度額	助成回数
学生コース	個人又は団体（中・高・大・大学院生に限る）	10万円以内	3回まで
身近な活動コース	個人又は団体	30万円以内	5回まで
はばたき支援コース		総額500万円以内（各回200万円以内）	5回まで
イベント・整備活動コース		300万円以内	1回限り
街並み空間・自主管理歩道コース	個人又はマンション管理組合等	300万円以内	制限なし



1. 公益信託あだちまちづくりトラス運営委員（10 名）

（役職は令和6年7月1日現在）

No.	区分	氏名	役 職	No.	区分	氏名	役 職
1	運営委員長	清水 麻帆	文教大学 准教授	6	運営委員	工藤 てつや	足立区議会議員
2	運営委員	松井 加奈絵	東京電機大学 准教授	7	運営委員	太田 せいいち	足立区議会議員
3	運営委員	鈴木 圭子	足立区まちづくり推進委員会委員	8	運営委員	依田 保	足立区地域のちから推進部長
4	運営委員	松沼 勝	足立区まちづくり推進委員会委員	9	運営委員	石鍋 敏夫	足立区産業経済部長
5	運営委員	吉満 明子	(株)センジュ出版 代表取締役	10	運営委員	真鍋 兼	足立区都市建設部長

2. あだちまちづくりトラス 信託管理人（1 名）

No.	区分	氏名	所属等
1	信託管理人	久保 一夫	税理士



▲運営委員からの質問に申請者が説明している様子



▲申請者のプレゼンテーションを聴いている様子

閉 会 挨拶

久保 信託管理人

本日は、お疲れさまでした。今回ご報告いただいた皆さまは、トラス助成2年目、3年目の団体が、ほとんどですので安心して報告をうかがうことができました。前年度においては、助成金の使い道としては認められていない、人件費を計上していた団体に指導などがありました。本日は安心して

お話をうかがうことができました。少し気になった点としては、いくつか数字に関しての齟齬がありましたので、きちんとすべきところは、きちんとしていただきたいと思います。閉会のご挨拶としては以上となります。本日はどうもありがとうございました。

■ 助成対象事業

(1) まちづくりの調査・研究等を行う個人又は団体への助成

- ア 住み続けられるまちに関すること
 - A 水辺や緑地などを活かしたまちづくりに関する調査・研究・活動
 - B 住み心地のよいまちに関する調査・研究・活動
 - C バス網や新線に関する調査・研究・活動
- イ 安心・安全に暮らせるまちづくりに関すること
 - A 地震災害や水害災害に備える防災まちづくりに関する調査・研究・活動
 - B ユニバーサルデザインに配慮したまちづくりに関する調査・研究・活動
 - C 身近な防犯まちづくりに関する調査・研究・活動
- ウ あだちの魅力づくりに関すること
 - A 地域特性を活かしたまちづくりに関する調査・研究・活動
 - B 地域が守り育てる景観まちづくりに関する調査・研究・活動
- エ 地域の魅力を発掘し、情報を発信する取組みに関すること
 - A 地域の歴史文化を伝える取組みに関する調査・研究・活動
 - B 文化芸術のまちづくりに関する調査・研究・活動
 - C 子どもたちが健やかに成長していく環境の支援に関する調査・研究・活動
- オ 区政の課題に関すること
 - A 区のボトルネックの課題（4つ）に関する調査・研究・活動
 - ① 治安向上に関する調査・研究・活動
 - ② 学力向上に関する調査・研究・活動
 - ③ 健康に関する調査・研究・活動
 - ④ 困窮の連鎖に関する調査・研究・活動
 - B 区民の関心が高い課題、テーマに関する調査・研究・活動
 - C 区のイメージアップ貢献に関する調査・研究・活動
 - D 区民生活に影響を及ぼす課題、問題に関する調査・研究・活動



(2) 公園・道路等公共施設内において、ふれあいのある快適な都市景観の整備等の活動を行う団体への助成

- ア 身近な公共施設の舗装・標識等の改善によるまちの美化、都市景観の整備活動
- イ 身近な公共施設への街路備品の設置を通じたふれあいのあるまちづくり活動
- ウ 公園・道路・堤防、公共施設建設予定地などを花や樹木により美化する活動

(3) 公開性の高い民地において、ふれあいのある快適な都市景観の整備等の活動を行う個人又は団体への助成

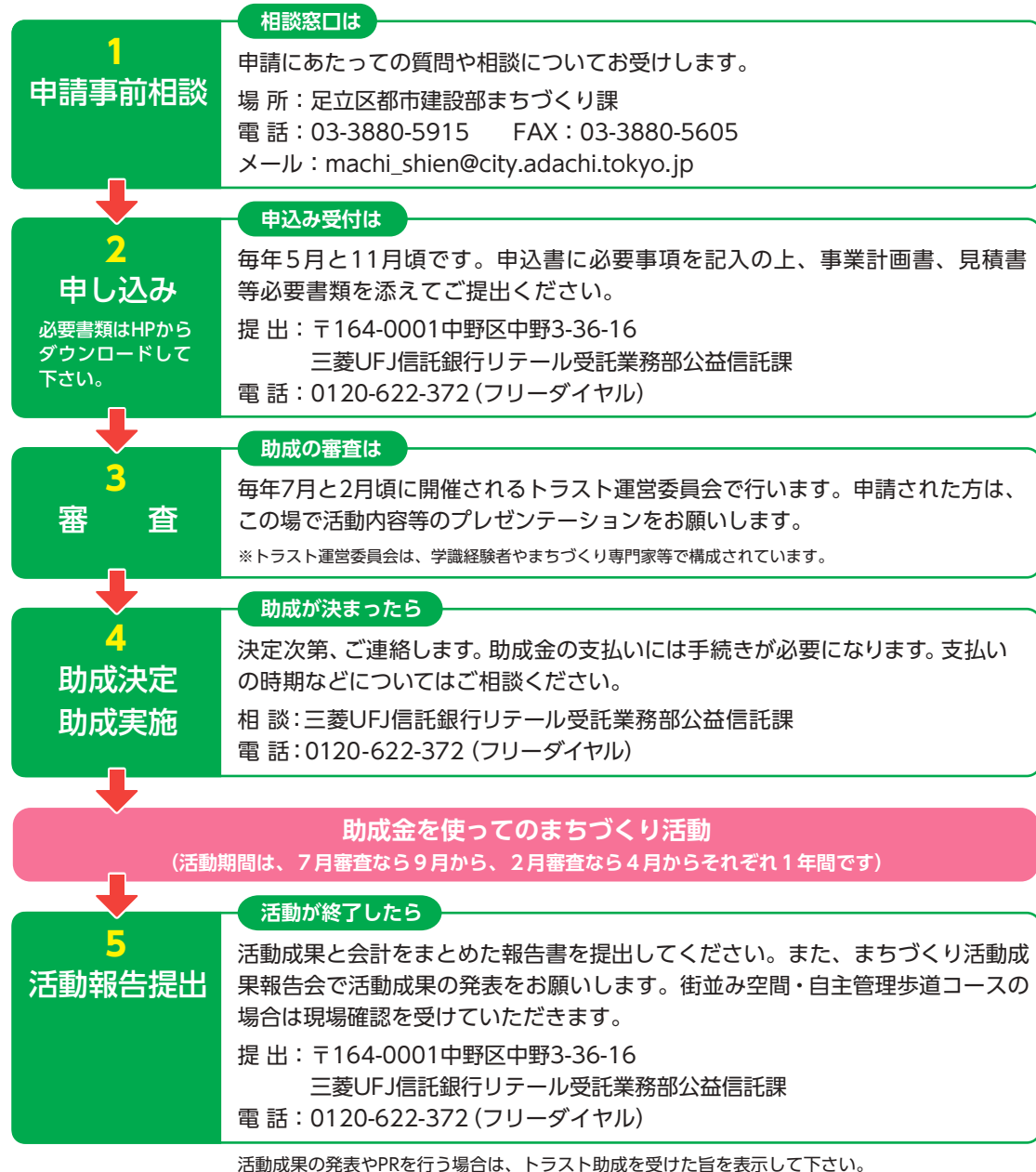
- ア 公開性の高い民地の舗装・標識等の改善によるまちの美化、都市景観の整備活動
- イ 公開性の高い民地に街路備品の設置を通じたふれあいのあるまちづくり活動
- ウ 公開性の高い民地を花や樹木により美化する活動
- エ 自主管理歩道の連続性向上に資する目的で行う、自主管理歩道築造及び障害物除去に係る工事
- オ 区の指定する重要樹木の保全活動
- カ 区の指定する歴史的・伝統的建造物等の保全活動

(4) その他目的を達成するために必要な事業

主に受託者又は委託者が行う活動が対象であり、個人又は団体が行う活動の場合はトラスト運営委員会が認めた場合に限る。

- ア まちづくり講演会、ワークショップの開催等の活動
- イ まちづくり活動及び事業実施に伴う視察会等の活動
- ウ まちづくり活動の輪を広げる PR イベントの開催の活動
- エ トラストの活動報告、発表会、記念式典の活動

／ トラストの申請方法 ／



トラストを受ける条件

- ① 営利を目的としない活動であること
- ② 団体の運営や代表者の選任方法が、会則、規則等で決まっていること
- ③ 同一内容の企画で区又は区の関係団体から助成を受けていないこと
- ④ 宗教・政治活動を目的としない活動であること
- ⑤ 社会の秩序や安全に脅威を与え、社会の発展を妨げる団体及びその構成員、個人でないこと

お問い合わせ

申請相談

足立区都市建設部 まちづくり課管理調整係

TEL 03(3880)5915(直) FAX 03(3880)5605 〒120-8510 足立区中央本町1-17-1

メール：machi_shien@city.adachi.tokyo.jp

代表受託者(申請書類提出先)

三菱UFJ信託銀行

フリーダイヤル

リテール受託業務部公益信託課 0120(622)372

〒164-0001 中野区中野3-36-16

公益信託
あだちまちづくり
トラストHP



<https://adachi-trust.jp/>